



かぞ 市議会だより

発行日／令和3年6月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

●第48号●



医療従事者から順次 新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました

目次

第1回定例会のあらまし…… P 2～3

委員会の審議内容…… P 5～7

議案等に対する討論…… P 10

議会活動等…… P 15

議案等に対する質疑…… P 4～5

議案等の審議結果…… P 8～9

市政に対する一般質問…… P 11～15

傍聴者の皆様へ…… P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会

検索



第1回 定例会の あらまし

令和3年第1回定例会は、2月16日から3月17日までの30日間の会期で開催しました。

今期定例会におきましては、令和3年度一般会計予算をはじめとした市長提出議案52件、議員提出議案3件、議員修正案1件を審査し、50件を原案可決、4件を承認、修正案の1件を否決、1件の人事案件に同意しました。

なお、審議結果につきましては、8ページから9ページをご覧ください。

令和3年度当初予算等 可決

一般会計 416億7,000万円（前年度比9.6%増）

最優先取組事業

・ 済生会病院支援事業

36億2,583万7千円

埼玉県済生会加須病院建設支援に係る補助金の交付、周辺整備

・ 新型コロナウイルス感染症予防対策事業

2,643万2千円

子ども・高齢者へのPCR検査実施、CT検査等助成、消毒液等の購入

令和4年6月1日 開院予定



工事が進む埼玉県済生会加須病院
(4月20日現在)

主な新規事業

・ がん検診事業 1億4,801万8千円

3密回避のための検診回数の増加、WEB予約システムの導入、若年者ターミナルケア支援

・ 旧川浚渫推進事業 1億2,550万円

旧川(北川辺地域)に堆積している土砂の浚渫工事の実施

・ 子育て支援タクシー事業

525万6千円

出産後の経済的支援として1歳未満の子どもの通院時タクシー代を助成

ペーパーレス化の推進

・ 議会運営事業 3,200万8千円

市議会議員のタブレット端末活用等による議会改革の推進

主な拡充事業

・ コミュニティバス運行事業 9,850万6千円

埼玉県済生会加須病院の開院を契機とした運行改善と地域公共交通計画の策定



・ 学校ICT教育活用事業 1億3,962万4千円
児童生徒一人一台端末の利活用及び校務系端末の整備

・ 住宅改修等需要促進事業 1,168万1千円
自己所有の居宅等改修工事費の一部助成を1回限りから5年度に1回に拡充

会計別予算額一覧表

会計名		予算額	対前年度増減率
一般会計		416億7,000万円	9.6%
特別会計	国民健康保険事業	125億8,470万円	1.7%
	国民健康保険直営診療所	1億 610万円	1.5%
	後期高齢者医療	12億9,130万円	3.5%
	介護保険事業	97億4,500万円	3.0%
	農業集落排水事業	6億6,071万8千円	▲2.6%
	野中土地区画整理事業	1億 562万円	▲67.9%
	栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業	1,277万8千円	▲14.1%
	河野博士育英事業	488万9千円	2.5%
	小計	245億1,110万5千円	1.2%
企業会計	水道事業	40億2,230万9千円	▲0.2%
	下水道事業	31億2,016万7千円	2.2%
	小計	71億4,247万6千円	0.9%
合計		733億2,358万1千円	5.8%

主な議案の一部を紹介
します。

令和2年度一般会計
補正予算(第11号)

・介護保険事業特別会計
繰出事業 (92万4千円)

元気はつらつ介護予防事業において、フレイル予防を目的として、加須転倒無止体操(市オリジナル)の介護予防体操)や健康維持に必要な情報を収録したDVD等を配布するための経費です。



・災害時要援護者支援事業
(987万6千円)

災害時に災害時要援護者への新型コロナウイルス感染症対策を図るため、「避難準備・高齢者等避難開始」発令段階で開設する避難場所等にエアベッド等の備品を配備するための経費です。

令和2年度一般会計
補正予算(第12号)

・新型コロナウイルス感染症
予防対策事業
(516万4千円)

集団感染のおそれがある場合、保健所が幅広く行うPCR検査の対象とならなかった16歳以上65歳未満の方のPCR検査費用を負担するための経費です。

・新型コロナウイルス
クチン接種事業
(6億4854万6千円)

希望する方全員がスムーズに接種できる体制の整備及び接種に要する経費です。

・ちよこつとおたすけ
サポート券高校生世代
支援事業
(4003万4千円)

高校生世代の生活支援及び市内経済の活性化のため、「ちよこつとおたすけサポート券」を配布するための経費です。

条 例

◇加須市敬老祝金贈呈に関する条例の一部を改正する条例

コミュニティバスの埼玉県済生会加須病院への乗入れを視野に、運行経路等の見直しをするに当たり、財源が必要となることから、満88歳の敬老祝金の額を5万円から3万円に改めるものです。

◇加須市介護保険条例の一部を改正する条例

介護サービス利用者の増加や、新たに特別養護老人ホーム100床の整備を進めるなど介護給付費の増加が見込まれており、適切な介護サービスを確保するため介護保険料の額を改めるものです。

人事案件

〔加須市教育委員会教育長の任命について〕

わたなべ 渡邊 義昭氏

(再任)

(大門町)

私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案等 と質疑

令和3年度歳出予算(主要 施策)・一般会計予算

・埼玉県済生会加須病院への救急ワークステーション設置について

議員 病院とどのように連携を図っていくのかお伺いします。

環境安全部長 埼玉県済生会栗橋病院によると、運営方法は協議中とのことですが、病院内に設置されることで、救急出動体制を維持しながら、救急救命士の病院実習時間の確保ができ、救急隊員が医師から直接指導を受けることで、知識、技術の向上が図られることになり、質の高い救急活動ができること、医師と救急隊員との顔の見える関係が構築されること等が期待されることでした。

また、搬送先を探す上で、受け入れしやすい態勢づくりに寄与され、市内における搬送時間の短縮になると考えております。

・がん検診事業

議員 若年者の在宅ターミナルケア支援の想定人数と支援内容についてお伺いします。

健康医療部長 先行している自治体の状況等を参考に2人分を予算措置しています。支援内容は20歳から40歳未満の市民で、回復の見込みがないと診断され、在宅生活の支援及び介護が必要ながん患者です。対象となる在宅介護サービスは訪問介護、訪問入浴介護、さらに車椅子や介護用ベッド等の福祉用具の貸与または購入で、介護保険に準じ9割分の4万5000円を助成するものです。

・大規模水害広域避難対策事業

議員 どのように実施するのかお伺いします。

環境安全部長 大型台風の接近・上陸を想定し、時系列に沿って情報収集・発信訓練、災害対策本部設置

訓練、広域避難訓練、水害時避難場所開設運営訓練、北川辺・大利根総合支所の本部移転訓練を実施する予定です。全市を挙げて初めての総合水害広域避難訓練となりますので、自治協力団体や民生委員等の関係団体との連携と協力をいただき、着実に成果が得られる訓練の実施に努めてまいります。



令和2年度一般会計 補正予算(第11号)

・(仮称)北川辺コミュニティセンター整備事業

議員 どのようなコミュニケーションセンターになるのかお伺いします。

北川辺総合支所長 北川辺中学校の余裕教室棟を転用し、地域活動拠点として整備するもので、1階には事務室、待合スペース、バリアフリー対応の多目的トイレ、子どもの居場所を設け、2階には音楽、文化活動、スポーツレクリエーション活動の利用のほか、各種団体等での会議利用が可能なスペースを配置してまいります。

・小学校施設整備事業

議員 プールの設備修繕より、水泳指導支援の民間委託を優先して進めることについて、お伺いします。

生涯学習部長 水泳指導支援業務委託費は、児童1人当たり1回、約2500円を見込んでいたり送迎時間の増による時間割への影響を考え、令和3年度は、市内の民間スイミングスクールから比較的距离が近く、児童数が少ない樋遣川小学校と豊野小学校での業務委託を予定しています。

今後は民間委託を拡充していく方向で考えていますが、令和3年度の実施状況や費用対効果を十分検証してまいります。

令和2年度一般会計
補正予算(第12号)

・地域活力応援事業

議員 対象となる売上げが30%以上減少の事業所は固定資産税の減免等の支援も受けられますが、支援を受けられない零細事業所への弾力的な運用についてお伺いします。

市長 この事業につきましては、事業者が厳しい中であっても事業を継続していくという、動機付けの一つとして考えております。様々な状況を考えて売上げが30%以上の減少とし、これより少ない場合は、影響の度合いが少し低いだろうということから、こうした条件といたしました。国の交付金とはいえ、税金の一部であることも考え、このような判断をしたものでございます。



・新型コロナウイルス
クチン接種事業

議員 超低温冷蔵庫の配備台数と配備予定の場所についてお伺いします。

健康医療部長 計7台配備予定で2月に1台配備している騎西病院のほか、3月に加須保健センター、4月に中田病院、5月に十善病院、大久保病院、本町福島クリニック、6月に国民健康保険北川辺診療所に1台ずつ配備いたします。

議員 ワクチン接種会場へ、自力では行けない要援護者に、どのような支援を考えているのかお伺いします。

福祉部長 災害時要援護者名簿に登録のある約7200人の方を対象として、タクシーなどによる接種会場までの移動や、地域支援者の方による付添いに係る負担の支援として、一人あたり絆サポート500円券4枚、合計2000円を上限に助成することで検討しています。

総合振興計画基本構想を審議

総合振興計画は、これからの10年20年を見据えたまちづくりの指針として策定するものです。第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会は、閉会中の継続審査となっていた第2次加須市総合振興計画基本構想について、1月18日、19日、25日及び2月3日の4日間で審査を行いました。主な審査内容は、次のとおりです。

◆まちづくりの基本目標

- ①安心安全でいきいきと暮らせるまちづくり
- ②未来へつなぐ人を育むまちづくり
- ③魅力と活力を生む産業のまちづくり
- ④豊かな自然と快適な環境のまちづくり
- ⑤協働による持続可能なまちづくり

問 地方創生の推進とSDGsへの取組に関し、SDGsへの対応について、基本構想の策定過程における考え方は。

答 基本構想策定の当初から、SDGsとの関連付けは重要なことであると明確に意識してきました。前期基本計画における44の施策ごとにSDGsに

コロナ禍における今後の財政運営の考え方は。

答 厳しい財政状況に対して、行財政改革などを進めながら、基金や前年度からの繰越金、さらに地方債などを活用することにより、健全な財政運営に努めます。

問 地域の特性を生かした土地利用と良好な住環境の形成に関し、加須駅南口周辺地域の新たなまちづくりについて、今後10年間の進め方は。

答 令和元年度に実施したまちづくり検討基礎調査を踏まえ、庁内関係課と協議を重ねた上で、市としての方向性を出し、その後、地元地権者などの意見交換を行うなど、幅広い視点を取り入れながら十分に検討します。

答 Society5.0が実現された社会では、IoTやAIによって様々な知識や情報が共有され、新たな価値が生まれる社会となります。スマート自治体推進のため、デジタル技術を適宜取り入れてまいります。

問 財政の見通しに関し、

- | | |
|-------------|------|
| 委員長 | 新井好一 |
| 副委員長 | 齋藤理史 |
| 委員 | 池田年美 |
| | 竹内政雄 |
| | 関口孝夫 |
| | 野中芳子 |
| | 小坂徳蔵 |
| | 金子正則 |

委員会の審議内容

各常任委員会は、2月26日及び3月10日、付託された特別会計当初予算等の14議案（総務常任委員会2議案、民生教育常任委員会7議案、産業建設常任委員会5議案）について審査を行いました。また、予算決算常任委員会は、2月26日、3月1日、8日、9日及び12日の5日間で一般会計当初予算について審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は、次のとおりです。

総務常任委員会

2議案 可決

委員長 新井好一
副委員長 裕 雄希
委員 小坂 雄子
山下裕美
池田和子
及川清心
大内正和
中島裕真
小勝裕雄
竹内政雄

《一般会計補正予算(第11号)》

・ふるさと納税促進事業

問 返礼品の周知方法は。

答 市のホームページに75品の返礼品を掲載するとともに、窓口にもパンフレットを置いて周知しています。



・保育所アレルギー等対応特別給食提供事業

問 アレルギー等対応の給食を提供している保育園の数は。

答 民間保育園の9園です。

・加須クリーンセンターごみ処理事業

問 加須クリーンセンターの修繕等の内容は。

答 処理水噴霧ポンプ取替修繕、4成分ガス分析

《一般会計補正予算(第12号)》

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 市外にかかりつけ医がある方に対するワクチン接種の対応は。

答 現時点では原則市内で接種いただくことになっており、今後、高齢者について接種する基礎疾患のある方については、市外のかかりつけ医で接種できる予定です。

・学校教育管理事業

問 学校における消毒作業の外部委託の考えは。

答 学校の実態を把握した上で、希望する学校が多い場合には一括して委託するなど、状況を確認しながら進めていきます。

《国民健康保険条例の一部を改正する条例》

問 賦課限度額を段階的ではなく引き上げた理由は。

答 コロナ禍という特別な事情を考慮し、賦課限度額のみを上限まで引き上げる必要最小限の改正を行うものであり、高所得者への適正な負担と、中・低所得者への保険税負担に配慮しました。

民生教育常任委員会

7議案 可決

委員長 齋藤理史
副委員長 森本寿子
委員 吉田健一
野中芳子
小林利一
佐伯由恵
柿沼秀雄
池田年美
原田 悟

《国民健康保険条例の一部を改正する条例》

問 賦課限度額を段階的ではなく引き上げた理由は。

答 コロナ禍という特別な事情を考慮し、賦課限度額のみを上限まで引き上げる必要最小限の改正を行うものであり、高所得者への適正な負担と、中・低所得者への保険税負担に配慮しました。

《国民健康保険事業》

問 特定健診受診率の目標達成のための対応は。

答 AIを使った受診率の向上への取組や、地域ごとのチラシの作成等、工夫をしながら進めていきます。

《後期高齢者医療》

問 新年度の保険料軽減割合の縮小状況は。

答 均等割の縮小が7.75割から7割となり、対象者

《介護保険条例の一部を改正する条例》

問 調整交付金の交付率5%のところ、第8期計画では1.43%と見込んでいる。不足分が第1号被保険者の保険料に影響しているのでは。

答 調整交付金の交付率が少ないことは、介護保険料に直接影響するため、市として国に強く要求してまいります。

《介護保険事業》

問 介護人材確保事業の見込み人数は。

答 受験手数料補助として介護福祉士8人、介護支援専門員20人であり、入門研修修了者は施設とのマッチングを行い、1年間で25人の確保を目標としています。

産業建設常任委員会

5 議案 可決

委員長 中條恵子
 副委員長 金子正則
 委員 正行 肇 蔵 英子 夫 義 夫
 栗原 徳 松本 英子 夫 義 夫
 小坂 徳 松本 英子 夫 義 夫
 関口 孝 夫 義 夫
 鎌田 勝 田 中 良 夫

《農業集落排水事業》

問 大越処理区における修繕計画の内容は。

答 令和3年度はマンホールポンプ等の修繕で1216万500円を計上しており、令和5年度までに終了する予定です。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業》

問 保留地の残りの区画数は。

答 保留地は全42区画のうち26区画が残っており、全て一般保留地で、令和3年度に2区画が公売予定です。

《加須都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業》

問 今後事業の清算業務を行う中、この特別会計はどうなるのか。

答 令和4年3月31日で事業認可が切れるため、閉

鎖を検討していきます。

《水道事業》

問 石綿セメント管の残延長は。

答 令和3年度末の残延長は約60kmとなる予定であり、毎年約2.6km更新しているため、令和25年度に概ね更新が完了する見込みです。



《下水道事業》

問 処理場の長寿命化対策の状況は。

答 第1次長寿命化対策は終了しましたが、川口地区の管渠工事終了後に第2次長寿命化対策を検討していきます。

予算決算常任委員会

1 議案 可決

委員長 田中良夫
 副委員長 吉田健一
 委員 及川 義 夫
 長 蔵 英子 夫 義 夫
 議員 栗原 徳 松本 英子 夫 義 夫
 全 小坂 徳 松本 英子 夫 義 夫
 分 関口 孝 夫 義 夫
 科 鎌田 勝 田 中 良 夫
 委 員 会 兼 ね

※予算と決算の審査を総合的・一体的に行うため、また、分科会委員を部門別の常任委員会委員が兼ねること、審査の活性化を図るため、令和3年から予算及び決算の審査を原則全議員が行うこととしました。

《総務分科会》

問 広報紙等発行事業に
 関し、子ども版市報かぞの発行時期は。

答 秋から冬にかけて2回発行する予定です。

問 自治体間交流事業に
 関し、新たな姉妹都市交流に向けた検討状況は。

答 旧大利根町の時から童謡に関して繋がりのある長野県中野市との交流などを検討しています。

《衆議院議員総選挙執行事業》

問 衆議院議員総選挙執行事業に
 関し、コロナ禍における投票所の運営は。

答 マスク及びゴム手袋の着用、消毒液の設置、定期的な会場内の換気、飛沫感染防止パネルの設置、ソーシャルディスタンスを確保するための会場レイアウトなどの対策を講じます。

《民生教育分科会》

問 産後ケア事業に
 関し、事業の拡充内容は。

答 訪問型では、対象を3か月未満から12か月未満に、また回数を5回までから7回までに拡充し、デイサービス型では3か月未満から4か月未満に拡充します。



《妊婦保健事業》

問 妊婦保健事業に
 関し、新生児聴覚調査の周知方法は。

答 産婦人科医院に周知するとともに、母子健康手帳取得時に周知していきます。

《女子硬式野球振興事業》

問 女子硬式野球周知のためのPR方法は。

答 女子野球連盟と連携し、講演会や野球教室等を行っていきます。

《産業建設分科会》

問 自主防災活動組織育成・支援事業に
 関し、令和3年度の事業内容は。

答 自主防災組織のリーダーになる方を対象にした研修会やコロナ禍でも実施できる訓練を検討しており、防災講演会も開催したいと考えています。

問 旧川浚深推進事業に
 関し、当事業の工事の実施予定は。

答 令和3年度の秋頃から実施する予定です。

《橋りょう維持改良事業》

問 橋りょう維持改良事業に
 関し、橋りょう点検等の内容は。

答 橋りょう点検が98橋、橋りょう修繕が2橋、設計が2橋をそれぞれ予定しています。



令和3年第1回定例会 議案等の審議結果

●全議員が賛成した議案

	議案番号	議案名	
市長 提 出 議 案	1	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市一般会計補正予算（第9号））	
	2	専決処分の承認を求めることについて（加須市介護保険条例の一部を改正する条例）	
	3	専決処分の承認を求めることについて（加須市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例）	
	4	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度加須市一般会計補正予算（第10号））	
	7	令和3年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計予算	
	13	令和3年度河野博士育英事業特別会計予算	
	17	令和2年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
	18	令和2年度加須市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
	20	令和2年度河野博士育英事業特別会計補正予算（第1号）	
	21	加須市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
	22	加須市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	
	23	加須市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
	24	加須市特別会計条例の一部を改正する条例	
	26	加須市手数料条例の一部を改正する条例	
	27	加須市水と緑と文化のまちづくり基金条例の一部を改正する条例	
	28	加須市子育て支援医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	
	35	加須市医療診断センター運営委員会条例及び加須市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例	
	36	加須市が管理する市道の構造等の基準に関する条例の一部を改正する条例	
	37	加須市高齢者、障害者等の移動等の円滑化を促進するための基準に関する条例の一部を改正する条例	
	38	市道路線の認定について（開発行為に伴うもの）※市道5592号線ほか5路線	
	39	市道路線の認定について（開発行為に伴うもの）※市道5593号線ほか4路線	
	40	市道路線の廃止について（開発行為に伴うもの）※市道5158号線ほか2路線	
	41	市道路線の廃止について（道路利用状況によるもの）※市道3162号線ほか3路線	
	42	市道路線の認定について（道路改良事業に伴うもの）※市道6683号線	
	43	市道路線の認定について（県道久喜騎西線バイパスの整備に伴うもの）※市道172号線及び市道173号線	
	44	市道路線の認定について（栄水防拠点の整備に伴うもの）※市道北1477号線ほか4路線	
	45	市道路線の廃止について（栄水防拠点の整備に伴うもの）※市道北1421号線ほか5路線	
	46	市道路線の認定について（一般国道125号バイパスの整備に伴うもの）※市道242号線ほか18路線	
	47	市道路線の廃止について（一般国道125号バイパスの整備に伴うもの）※市道242号線ほか11路線	
	48	令和2年度加須市一般会計補正予算（第12号）	
	49	加須市職員の特殊勤務手当に関する条例及び加須市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
	50	訴えの提起について	
	51	加須市教育委員会教育長の任命について	
	議員 提 出 議 案	2	加須市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
		3	加須市議会会議規則の一部を改正する規則

●賛否が分かれた議案等（欠席を含む）

○…賛成、●…反対

※会派別議席番号順

議案番号	議案名等	審議結果	創政会					新政会					令和会		公明党			日本共産党			改革フォーラム								
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子	鎌田勝義
市長提出議案	132	第2次加須市総合振興計画基本構想について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	令和3年度加須市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	令和3年度加須市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	令和3年度加須市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	令和3年度加須市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	令和3年度加須市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	令和3年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	令和3年度加須都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	令和3年度加須市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	令和3年度加須市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	令和2年度加須市一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	令和2年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	加須市敬老祝金贈呈に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	加須市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	加須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	加須市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	加須市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	加須市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	1	加須市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員修正案		第5号議案 令和3年度加須市一般会計予算に対する修正案	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

—9— ※議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。 ※審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。
 ※第132号議案は、令和2年第4回定例会において閉会中の継続審査となった議案です。

議員提出議案

◇加須市議会委員会条例の一部を改正する条例

行政手続等において、原則として押印を廃止する政府の政策動向を踏まえ、委員会の記録に係る押印規定を削り、電磁的記録による記録及び改選後における予算決算常任委員会の定数を改めるものです。

◇加須市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

「政務活動費収支報告書」の押印を廃止するものです。

◇加須市議会会議規則の一部を改正する規則

本会議や委員会の欠席事由及び産前産後期間を明文化するほか、請願に係る押印の規定及び議場又は委員会の会議室における携帯品を見直し、規定の整備をするものです。

議案等に対する討論

採決に先立ち、議案等に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

令和2年度一般会計補正予算(第11号)

反対討論

本案は確かにどれも重要な事業ではありますが、新型コロナウイルスが収束していない中、無料でPCR検査を受けられるよう、コミュニティセンター管理運営事業、公園整備事業、加須未来館管理運営事業の3つの事業を延期し、PCR検査費用に充てるべきであることから、本案に反対するものです。

賛成討論

コミュニティバス運行事業では、運行経費を補助

し安定的な運行を支援し、コミュニティセンター管理運営事業では、修繕を行い安全に利用できるように、また、加須クリーンセンターごみ処理事業では、安定したごみ処理を継続するために修繕を行うなど市民の安心・安全な生活に資するものと判断し、本案に賛成するものです。

令和3年度一般会計当初予算

反対討論

本予算を詳細に分析すると、新型コロナウイルス感染症対策は市政の最優先課題である中、その対策や震災から市民の安全を守る対策が不十分なこと、身の丈を超える野中土地開発事業や同和行政・同和教育など市民の立場から容認できない基本的な問題があることから、本案に反対するものです。

賛成討論

令和3年度は、第2次加須市総合振興計画の初年度であり、5つのまちづくり目標に沿って市民福祉の増進、市民サービスのさらなる向上を目指す積極的な予算となっています。また、新たな工業団地の整備や埼玉県済生会加須病院

を核とするまちづくりプランの策定に大きな前進が期待できます。今後の土地利用の変更等、問題解決に当たっていただくことを期待し、本案に賛成するものです。



第1回定例会 会期日程

- | | | |
|----------|---------------------|--|
| 2. 16(火) | 本会議 | |
| 2. 24(水) | 本会議 (議案質疑) | |
| 2. 25(木) | 本会議 (議案等質疑) | |
| | 予算決算常任委員会 | |
| 2. 26(金) | 総務常任委員会 | |
| | 民生教育常任委員会 | |
| | 産業建設常任委員会 | |
| | 予算決算常任委員会 (民生教育分科会) | |
| | 予算決算常任委員会 (民生教育分科会) | |
| 3. 1 (月) | 本会議 (一般質問等) | |
| 3. 2 (火) | 本会議 (一般質問) | |
| 3. 3 (水) | 本会議 (一般質問) | |
| 3. 4 (木) | 本会議 (一般質問) | |
| 3. 5 (金) | 本会議 (一般質問、議案質疑) | |
| 3. 8 (月) | 予算決算常任委員会 (総務分科会) | |
| 3. 9 (火) | 予算決算常任委員会 (産業建設分科会) | |
| 3. 10(水) | 総務常任委員会 | |
| 3. 12(金) | 予算決算常任委員会 (総括質疑) | |
| 3. 17(水) | 本会議 | |



ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に12～15ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

佐伯由恵議員

(日本共産党)

○東日本大震災から10年、教訓を生かした災害の備えについて

○コロナ対策 医療機関への財政支援について

○コロナ禍における学校の安全対策と学びの保障について

○「核兵器のない世界」に向け「加須市平和都市宣言」と平和首長会議加盟市としての取組について

大内清心議員

(公明党)

○良好な住環境を形成するため

○コロナ禍で頑張る商店街を応援するために

○コロナ禍で苦しむ市民の命と健康を守るために

池田年美議員

(公明党)

○デジタル化について

○アプリ(「LINE」等)でコロナワクチン予約について

○コミュニティバスについて

竹内政雄議員

(創政会)

○株式会社かぞ農業公社について

○第1次加須市総合振興計画について

○第2次加須市総合振興計画について

森本寿子議員

(公明党)

○公共施設等の混雑状況の可視化について

○多様性を認める共生社会について

○子どもたちの健やかな成長のために

○幸せのクローバーを生かした新たなまちづくりについて

金子正則議員

(新政会)

○GIGAスクール構想について

○耕作放棄地の発生防止について

原田 悟議員

(令和会)

○本市のデジタル化推進について

○本市が所有する公共施設の管理について

池田裕美子議員

(改革フォーラム)

○市長と担当部長との意思疎通に関する疑問について

○会計年度任用職員への移行に関する説明について

○「よねっと」情報の活用について

野中芳子議員

(改革フォーラム)

○観光振興について

○かぞ健康マイレージについて

○新型コロナウイルス接種について

中條恵子議員

(公明党)

○教育環境の充実について

○令和3年度の事業推進について

及川和子議員

(日本共産党)

○北川辺地域の公共施設のあり方について

○コミュニティバスの運行改善について

新井好一議員

(創政会)

○新型コロナウイルス感染症対策について

○コミュニティバスの運行改善について

○災害に強いまちづくり

松本英子議員

(日本共産党)

○災害に強い・いのちを大切にすまちづくりについて

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組について

小坂徳蔵議員

(日本共産党)

○新型コロナウイルス接種及び感染対策について

○水害時の広域避難場所確保について

○ジェンダー平等の推進について

小勝裕真議員

(新政会)

○土地利用構想について

○協働による持続可能なまちづくりについて

○加須市の文化財について

福島原発の教訓を生かし 東海原発再稼働に反対を

佐伯 由恵 議員

佐伯 東日本大震災と原発事故から10年、当時は200km離れた本市も放射能で汚染されました。幼稚園や小中学校23施設で除染基準の毎時0.23μシーベルト以上が観測され、双葉町は高い線量で故郷に戻れなくなりました。ところが国は茨城県東海第二原発を再稼働し、事故発生時は、水戸市民約2千人を本市に避難させる計画です。東海原発と本市の距離は約100kmで事故が起きれば市民も高い放射能にさらされます。福島原発事故の教訓を踏まえ、国に誤りなきよう、東海原発再稼働に反対を表明することを強く求めますが、考えをお伺いします。

市長 原子力発電はいわゆるエネルギーの問題であります。原子力以外に火力、水力、再生可能エネルギーなどの全体のバランスにつきましても、国の根幹に関わる問題であり、その賛否を表明する立場にはないと考えております。

コロナ禍で苦しむ市民の 命を守るために

大内 清心 議員

大内 3月は自殺対策強化月間です。新型コロナウイルス感染症が拡大した昨年、自殺者数は2万1077人にのぼり、男性は減少したものの女性は934人増の7025人に、小・中・高校生は4割増の479人と女性や小・中・高校生が増加していることが明らかとなりました。本市の現状と対策についてお伺いします。

健康医療部長 自殺者数は令和元年で男性9人、女性4人、令和2年は11月までで男性11人、女性5人と増加傾向です。本市では、自殺対策計画を基に総合的に取り組んでいます。令和3年度は心の健康相談の拡充や、すくすく子育て相談室に保健師を増員して相談体制を充実し、対面相談のほかオンラインや電話相談にも対応してまいります。また、身近な相談者としてゲートキーパー研修の定員を拡充し、誰かに相談できる体制等の充実を図ってまいります。

シャトルバスの運行経路 見直しについての考えは

池田 年美 議員

池田 まちづくりアンケートの調査結果では、公共交通のさらなる利便性を求める意見があったとのこと。騎西地域は東西を走る公共交通機関がありません。高齢者が増えている天沼団地周辺は病院やスーパーなど生活に必要な施設がなく、デマンド型乗合タクシーでは時間が読めず、利用しづらいとの声を聴きます。シャトルバスの運行経路見直しについての考えをお伺いします。

市長 運行改善については、これまでも適時適切に改善を図ってまいりました。今回、埼玉県済生会加須病院の開院を契機として、高齢者をはじめ市民の移動手段の確保、特に加須病院へのアクセスを中心に、シャトルバスの運行経路の見直しやデマンド型乗合タクシーの増車について、地元の見解を伺いながら内容を固め、令和3年度中に見直し後の運行を開始したいと考えております。

第2次加須市総合振興計画 に対する認識と見解は

竹内 政雄 議員

竹内 市民にとって50年来の夢である埼玉県済生会加須病院が来年度6月に開院予定です。これと併せ夢のあるまちづくりが展開できればと期待していますが、第2次加須市総合振興計画に対する認識と見解についてお伺いします。

市長 第2次加須市総合振興計画は、今後のまちづくりの課題を明確にし、それらの課題に臆することなくチャレンジする姿勢を表したものであります。加えて、デジタル社会やSDGsへの取組等、新たな社会的要請を受け、これらについても計画に位置付け、取り組むべき重要な課題を市民の皆様にご提示できたという強い思いがあります。これからの市政運営では、計画に位置付けた施策を着実に推進し、新たな将来都市像である「絆でつくる緑あふれる安心安全・元気な田園都市 加須」の実現に向け、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

性犯罪・性暴力に対する 生命の安全教育への取組は

森本 寿子議員

森本 国は令和2年度から3年間を性犯罪、性暴力対策の集中強化期間と決め、昨年10月から内閣府に男女間暴力対策課を新設しました。また、加害者にも被害者にも傍観者にもならないという強化方針から、学校等で令和3年4月から生命の安全教育を導入していくとされていますが、本市の取組について伺います。

学校教育部長 各学校での性に関する指導は、これまでも学校教育活動全体を通じて行われております。助産師等を招聘して性教育に取り組んでいる学校もあります。また、特別の教科道徳や特別活動などでは、命を大切にする教育、自分や相手一人一人を尊重する教育に取り組んでいます。さらに児童・生徒、保護者からの相談の受入れ体制や教職員への対応についての研修等も計画的に取り組んでいます。引き続き、関係機関等と協力、連携して生命の安全教育を推進してまいります。

GIGAスクール構想に ついての考えは

金子 正則議員

金子 国が進めるGIGAスクール構想が来年度スタートします。子どもたちが端末を一人一台持つことで教育改革が始まり、学校教育も大きく変わっていくと思います。教育のデジタル化の中で、誰一人取り残さないようメリットやデメリットを理解し、授業を進める必要があると思います。GIGAスクール構想についての考え方を伺います。

教育長 授業では、写真や動画を瞬時に共有できることや、情報を比較検討し考えをまとめて表現することなど、ICTを活用して効果的に実施できることをメリットと捉える一方、端末の使用が目的となり、学習のねらいに沿って活用されない心配があることをデメリットと捉えています。教育のデジタル化が進む中、端末を効果的に活用し、高度情報化社会を力強く生きる力を育成してまいりますと考えております。

公共施設等の整備・運営の 民間活用についての考えは

原田 悟議員

原田 第2次加須市総合振興計画の中に「民間の力を活用します」とあり、公共施設等の適正な配置では「指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を推進してまいります」とあります。さらに、様々なところに指定管理者制度または民間の力をとありますが、民間の資金、または創意工夫を今後どのように活用していくのか伺います。

市長 今後の公共施設の再整備については、直営が原則であり、運営については、柔軟な開館時間の設定ができるなど民間の力も必要であると思っております。そこに日々、市民のご意見をいただくことで、適宜適切な管理ができるものと考えております。民間の力の活用には、効果があると思われるものを厳選することが重要であり、整備と運営、そのメリット、デメリットを十分考え、本市にあった導入の仕方を考えてまいります。

ワクチン接種前の問診時に 「とねっと」の活用は

池田 裕美子議員

池田 新型コロナウイルスワクチン接種訓練から見えた課題は、問診の精度と所要時間です。高齢者の方々の多くは自分の健康状態が正しく説明できるのか不安を抱えています。本市には2012年から地域医療ネットワークシステム「とねっと」があり、3年前からは健康情報も保管できるようになりました。ワクチン接種前の問診に、蓄積された情報を活用できないのか伺います。

健康医療部長 「とねっと」には、病名や処方などの医療情報に加え、アレルギーの有無や過去にアナフィラキシーショックを起こした経験の有無等も登録されているため、新型コロナウイルス接種において、問診の補完として有効に活用できると考えております。個別接種では、かかりつけ医に活用のPRをしてまいります。また、集団接種では会場にタブレット端末を設置し、活用する予定です。

もっと楽しく、わくわくの健康マイレージを

野中 芳子 議員

野中 疾病予防により一層力を入れるために、また40代、50代の参加者を促すためにも、もっと身近で魅力的な健康マイレージとすることが必要です。日常ウォーキングをポイント項目に加えること、ポイント獲得時のプレゼントを検討すること、さらに楽しくわくわくする事業とするために、民間企業との連携についての考えをお伺いします。

健康医療部長 令和3年度から、一定数以上の歩数を一定期間継続するとポイントの対象にすることとしています。また、プレゼントについては、健康づくりとともに商店街での購買効果に波及させることも併せて行っていることから、今後も絆サポート券を活用してまいります。

市長 健康づくりは市の発想に加えて、民間企業、大学等の経験、知識、手法を取り入れるため業務提携し、進めているところです。

小学校の30人学級推進についての考えは

中條 恵子 議員

中條 公立小学校の学級編成の標準を40人から35人に5年かけて段階的に引き下げるという内容の改正案が2月に閣議決定されました。本市においては、子どもたちの健康を守るための環境整備と教員のきめ細やかな指導の充実のためにも目指すべきところは30人学級ではないかと思えますが、考えをお伺いします。

学校教育部長 本市では、これまで、法律や県の基準に則り、小学校1、2年生については、1クラスの上限を35人として学級編成しております。埼玉県では、現在の国の法改正に加えて、基準等の改正を進めており、令和3年度は、小学校第3学年でも35人の学級編成が可能になる予定です。市教育委員会としましては、学校の実態を考慮し、35人学級の編成ができるよう検討しており、正式な文書が届きましたら、令和3年度から実施できるように準備を進めてまいります。

北川辺地域の公共施設の在り方についての考えは

及川 和子 議員

及川 北川辺コミュニティセンター整備については、多くの利用者が公民館を残してほしいと言っています。北川辺健康福祉センター、旧北川辺介護サービスセンター整備に関しても、高齢者の皆さんが、楽しみの場所を無くさないで欲しいと願っています。地域住民の声が生きる形の整備により、地域の活性化が図られると思えます。地域の意向に沿った運営を求めますが、考えをお伺いします。

市長 北川辺地域のみならず市全体として、公共施設の在り方がどうあるべきかという視点で考えております。各施設が各地域で果たしている役割と、将来求められる役割を十分に考慮し、限られた財源で、行政サービスを適切に発揮できるよう施設の統廃合も含め、真に必要な施設につきまして、市民が安心・安全に利用できるように維持してまいりたいと考えております。

コミュニティバスの運行改善についての考えは

新井 好一 議員

新井 令和4年6月1日に埼玉県済生会加須病院が開院予定である中、コミュニティバスの運行改善は第2次加須市総合振興計画や今期定例会施政方針の中でも、交通弱者の利便性を確保しようということで記されています。この改善を機に北川辺地域の独自の課題が改善されることを期待しますが、運行改善に向けた基本的な考えについてお伺いします。

市長 コミュニティバスの運行改善の検討の方向といたしましては、シャトルバスの運行経路の見直しとデマンド型乗合タクシーの増車を組み合わせ、よりよいコミュニティバスの運行形態にしたいと考えております。その際には、今までにいただいたご意見が全て蓄積してありますので、これらを十分反映し、検討していくことが大事であると考えております。

避難援助者を着実に募る 取組を

松本 英子 議員

松本 大利根地域では、37の自主防災組織があり、災害時要援護者922人のうち341人に避難援助者がいます。しかし、避難援助者が決まっていない人々が災害時に命に関わる危険に遭遇することになります。自主防災組織にモデル地区を定め、要援護者に対して、避難援助者を着実に募る取組を推進するよう求めますが、考えをお伺いします。

市長 市民同士のつながりの中で援助を必要とする方や援助ができる方、その関係性を築いていくことは大事なことでございます。避難援助者が少ない地域では、例えば、高齢者が多く自分の身を守ることで精一杯というケースがあるなど、一つの地域をモデル地区にすることで画一的に推進できるというわけではありません。根底にある地域の事情、地域差があるというところに十分留意しながら進めてまいりたいと考えております。

コロナ感染防止のために 戦略的なPCR検査を

小坂 徳蔵 議員

小坂 市ホームページ掲載のワクチン接種に関するQ&Aでは、「ワクチンを受けた方は発症を予防できると期待されますが、他人への感染をどの程度予防できるのか、まだ分かっておりません。」とあります。コロナ感染を防止するためには、PCR検査を濃厚接触者以外にも幅広く実施し、感染者を見つけて保護していく戦略が極めて重要であると思えますが、考えをお伺いします。

市長 県のPCR検査の対象外となった子どもや高齢者の方についても保健所と相談の上、市が対応してまいりました。さらに16歳から65歳未満の方についても対応してまいります。最近では、保健所も対象範囲を幅広く取るようになりました。今後も保健所と連携しながら漏れのない形で、必要な方々に必要な検査を行うという基本姿勢で臨んでまいりたいと考えております。

協働による持続可能な まちづくりについて

小勝 裕真 議員

小勝 政治学者の調査結果によると、現代の日本では、個人主義、自己責任主義が強くなっており、他者を思いやる心、共に助け合う力が弱くなっていると指摘されています。阪神淡路大震災や東日本大震災の際には、共助によって多くの命が助かりました。協働による持続可能なまちづくりを進めるためには、共助の取組が最も重要であると思えますが、考えをお伺いします。

市長 私は、これまで市民との協働をまちづくりの基本的な考え方として、市政運営の根底に据えてまいりました。この点は今後もますます必要と考え、第2次総合振興計画をはじめ各種計画にキーワードとして取り入れています。協働によるまちづくりは、市民の皆様方との共通理解の上で進めていくものでありますので、従来から申し上げておりますとおり、いろいろな場でご説明しながら、今後も進めてまいります。

3月23日(火)、市議会業務継続計画(市議会版BCP)に基づき、市内で休日の深夜に震度6弱の地震が発生したことを想定し、議会災害対策会議の設置など、図上訓練を実施しました。



市議会業務継続計画(市議会版BCP)図上訓練を実施

3月12日(金)、議場において、AI(人工知能)等の情報技術を活用した行政手続等のデジタル化推進についての知識を修得するため、ウェブセミナーを受講しました。



埼玉県市議会議長会議員行政研修会(ウェブセミナー)を受講

加須市議会本会議、委員会等の傍聴者の皆様へ

令和3年第2回定例会は、6月14日から29日まで行われる予定です。

本定例会を傍聴する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに感染を予防するため、次のとおりお願いいたします。

傍聴する場合には、次のとおりお願いします

- ①入口にある消毒液で手を消毒してください。
- ②マスクを着用してください。
- ③市役所本庁舎1階正面入口に検温器がございますので、検温にご協力をお願いします。
(体温が37.5度以上の方は傍聴できません。)
- ④傍聴席の座席は、1つおきに離れて座ってください。

次の場合には、傍聴できません

- ①息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ②重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ③上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
- ④その他、ご自身の症状に不安がある場合

※インターネットで本会議のライブ中継・録画中継を実施していますので、ご覧ください。→



市民とともに進める議会改革

議会改革を市民の皆様とともに推進するため、市民公開研修講座を開催いたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、中止となる場合があります。

- | | | | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
| <p>申込対象
市内在住・在勤・在学の方
電話またはメールで議会事務局(内線411)へ</p> | <p>会場
アスタホール 多目的ホール</p> | <p>講師
気象予報士・防災士 平井 信行氏</p> | <p>日時
7月30日(金)午前10時～12時</p> | <p>日時
7月12日(月)午後2時～4時</p> | <p>日時
7月30日(金)午前10時～12時</p> | <p>日時
7月12日(月)午後2時～4時</p> |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|

◆市議会防災講演会

◆議会報告会・市民との意見交換会

令和2年度 傍聴者数・インターネットライブ中継視聴件数

定例会・臨時会名	内 容	傍聴人数	インターネットライブ視聴件数
第1回(5月)臨時会	本会議	7人	90件
第2回(6月)定例会	本会議	33人	736件
	常任委員会	5人	—
第3回(9月)定例会	本会議	64人	1,321件
	常任委員会	4人	—
	決算特別委員会	54人	—
第4回(12月)定例会	本会議	59人	1,854件
	常任委員会	3人	—
第1回(令和3年3月)定例会	第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会	57人	—
	本会議	54人	1,979件
	常任委員会	0人	—
	予算決算常任委員会	14人	—
合 計		354人	5,980件

編集後記

市民の皆様、いつも市議会だよりをお読みになっただき誠にありがとうございます。

令和3年第1回定例会では、2月16日から3月17日までの30日間の会期で開催され、令和3年度一般会計予算や市長提出議案等、極めて重要な議案審査を行いました。

昨年からの猛威をふるっていた新型コロナウイルスの影響で市のイベントも中止となり、皆様も不安な日々が続いているかと思えます。本紙が皆様のお手元に届くころには、ワクチン接種も始まっているかと思いますが、一人でも多くの方にワクチンを接種していただき、一日でも早く新型コロナウイルスに対する不安が無くなり、コロナ前の様に皆様が笑顔で過ごせる日々が戻ってくればと思います。

これからも我々議員一同、皆様のことを第一に考え、市民の暮らしと健康を守るため、更により良い加須市を創造してまいりますので、様々なご意見等を賜りますようお願いいたします。

(編集委員 山下雄希)

市議会だより編集委員会

委員長 小林利一 副委員長 金子正則

委員 池田裕美子 佐伯由恵 原田 悟 吉田健一 池田年美 山下雄希



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

